令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	国語	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	現代の国語	3	105時間

対象学年組　第1学年全組

使用教科書　三省堂「新　現代の国語」

科目：「現代の国語」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	実社会に必要な国語の基本的な知識や技能を身に付ける。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養なおうとする。
評価方法	定期テスト 小テスト 提出物 ワークシート	定期テスト 小テスト 提出物 ワークシート グループ・ワーク	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価基準（おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	4	中間	【単元名】 情報を読み解く力 【目標】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 主張や論拠など情報と情報との関係について理解する。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 図表等を読み、理解したり解釈したことをまとめて、発表する。	・指導事項 図表を基に考え、理解したことや解釈したことを発表する。 ・教材 「伝え合い（コミュニケーショ）に大事なことを考える」	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 主張や論拠など情報と情報との関係について理解している。 図表等を読み、理解したり解釈したことをまとめて、発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 回りとの人よりよいコミュニケーションがとれるよう、協力し合っている。
1	単元2	5	中間	【単元名】 情報を要約する力 【目標】 主張や論拠など情報と情報との関係について理解する。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	・指導事項 情報を取り出したり、情報と情報を関連付けて解釈したりして、考えを深める。 ・教材 「届く言葉、届かない言葉」		○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 主張や論拠など情報と情報との関係について理解している。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。
1	単元3	9	中間	【単元名】 確かな情報を伝える力 【目標】・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解する。情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。	・指導事項 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。 ・教材 「情報はつくられる」「ひとまず、信じない」「コラム」	○	○	○	【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使ったりして、自らの学習を調整しようとしている。
1	単元4	10	期末	【単元名】 情報をまとめる力 【目標】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。主張や論拠など情報と情報との関係について理解する。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	・指導事項 二つの文章を読み、それぞれの内容を要約する。 二人の筆者のコミュニケーションに対する考え方の特徴を指摘する。 ・教材 「わかりあえないことから」 「聞く力」	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域			評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
						話・聞	書	読	
1	単元5	11	期末	【単元名】 場に応じて伝える力 【目標】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	・指導事項 「中身当てクイズ」の概要を確認し、グループやクラスでクイズの答えとその根拠を交流する。またAとBの文章を読み比べ、それぞれの文章の伝えたいことはどんなことか、各自で考えた後グループで話し合う。 ・教材 「中身当てクイズ」「読み比べる　―海ガメの無念」「コラム」	○	○	○	【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語彙の増加、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。
2	単元6	9	中間	【単元名】 情報を分析・評価する力 【目標】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 事例を比較して述べる方法の、長所と短所について考える。	・指導事項 文章を読み、概要を把握する。2 事例を比較して述べる方法の、長所と短所について考える。 ・教材 「読むことのレッスン」「コラム」		○	○	【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりする。
2	単元7	9	中間	【単元名】 言葉と声で表す力 【目標】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。	・指導事項 写真を見て、感じたこと（写っているもの、人々の生活など）を書き出す。 写真で伝わること、文章で伝わること、写真と文章で伝わること、それぞれの違いを指摘する。 ・教材「世界を言葉と声で表す」「写真を見て感じ取る」「檻の中の街」「コラム」	○	○	○	【知識・技能】 推論の仕方を理解し使っている。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 　論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価している。聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
2	単元8	10	期末	【単元名】 説明の方法を理解する力 【目標】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	・指導事項 この文章で筆者が、何と何を、どのように比較しているかに注意して読む。それぞれの部分で、筆者の主張がどのような事実に基づいているかを整理・分析する。 ・教材 「水の東西」「コラム」	○	○	○	【知識・技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えを深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
2	単元9	11	期末	【単元名】 情報を関係づけてまとめる力 【目標】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使う。 写真を見て、感じたこと（写っているもの、人々の生活など）を書き出し、写真で伝わること、文章で伝わること、写真と文章で伝わること、それぞれの違いを指摘する。	・指導事項 文章を読み、概要を把握し、筆者の伝えたかったことは何かをまとめる。「檻の中の〝街〟」と読み比べ、表現上の特色を指摘する。 ・教材 「檻の中の〝街〟」「小さな哲学者」	○	○	○	【知識・技能】 推論の仕方を理解して使っている。引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域			評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
						話・聞	書	読	
3	単元10	8	期末	【単元名】 さまざまな視点から情報を捉える力 【目標】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	・指導事項 文章を読み、概要を把握し、「問題」「結論」「理由」の要素を読み取り、筆者の主張をつかむ。 ・教材 「コインは円形か」「コラム」		○	○	【知識・技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 目的に応じて情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えを深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
3	単元11	6	期末	【単元名】 説得力を高める力 【目標】 引用の目的やはたらきを理解する。引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使う。	・指導事項 文章を読み、概要を把握する。筆者が芦田愛菜さんの文章を引用した意図を、推論する。引用の効果をふまえて自分の「折々のことば」を見つけ、記録する。 ・教材 「折々のことば」「宝探しみたいに本の世界へ入っていきます」「コラム」		○	○	【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている
3	単元12	7	期末	【単元名】 よりよく書く力 【目標】 事例と主張の関係を整理する。学びを深める「真実はひとつじゃない」ことを知る。	・指導事項 教科書の絵が何の絵に見えたか、隣の人に説明し合い、2通りの見方があることを認識する。「ありのままの世界は見えない」の筆者の考えを、事例をもとに整理する。それと「ものとことば」を読み比べ、共通しているテーマはどのようなことか見つける。 ・教材 「ありのままの世界は見えない」「ものとことば」「コラム」	○	○	○	・指導事項 教科書の絵が何の絵に見えたか、隣の人に説明し合い、2通りの見方があることを認識する。「ありのままの世界は見えない」の筆者の考えを、事例をもとに整理する。それと「ものとことば」を読み比べ、共通しているテーマはどのようなことか見つける。 ・教材 「ありのままの世界は見えない」「ものとことば」「コラム」
3	単元13	6	期末	【単元名】 情報を適切に編集する力 伝えることの意味や方法を理解する力 【目標】 情報を適切に編集する。	・指導事項 情報を適切に扱うにはどうすればよいかについて、「情報はつくられる」「ひとまず、信じない」なども参考にしながら考える。 ・教材 「パブリックスピーチをしよう」「パネディスカッションの方法」	○	○	○	【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 自分が的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。

令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	地歴公民科	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	歴史総合	2	70時間

対象学年組　第1学年　　1 組、　　2 組、　　3 組、　　4 組、　　5 組

使用教科書　帝国書院　明解歴史総合（歴総706）

科目：「歴史総合」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	近現代の歴史の変化に関わる諸現象について、世界とその中の日本を広く相互的な視点で捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる現象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	3	中間	【単元名】 歴史と私たち、歴史の特質と資料、近代への問い 【目標】 生徒の生活や身近な地域などでみられる諸現象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。	・指導事項 歴史と私たち 歴史の特質と資料 近代への問い ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 身の回りの事象や世界の歴史のつながりを理解している。近代化に関わる史資料を読み解く技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象や世界の歴史とのつながりを考察し、自分の考えを表現しようとしている。また、資料から得た情報と中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問を表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって粘り強く取り組もうとしている。
1	単元2	10	中間	【単元名】 近代化と私たち ・江戸時代の日本と結びつく世界 ・欧米諸国における近代化 【目標】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 18世紀アジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響や産業革命の影響に着目して、主題を設定し、アジア諸国とそのほかの国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国の関係の変容などを多面的・多角的に考察表現する。	指導事項 2部近代化と私たち 1章江戸時代の日本と結びつく世界 2章欧米諸国における近代化 ・江戸時代の日本と結びつく世界 ・欧米諸国における近代化						【知識・技能】 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。また、市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 大航海時代から世界の一体化に至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現しようとしている。また、市民革命及び産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会とのかかわりを考察し、自分の言葉で表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易や市民革命や産業革命が現代に与えた影響や課題について、自ら課題を設定し、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元3	16	期末	【単元名】 近代化と私たち ・近代化の進展と国民国家形成 ・アジア諸国の動揺と日本開国 ・近代化が進む日本とアジア 【目標】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民党道の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法などを基に立憲体制と国民国家の形成を理解する。国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とそのほかの国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	指導事項 2部近代化と私たち 3章近代化の進展と国民国家形成 4章アジア諸国の動揺と日本開国 5章近代化が進む日本とアジア ・近代化の進展と国民国家形成 ・アジア諸国の動揺と日本の開国 ・近代化が進む日本とアジア						【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割が被植民地地域に与えた影響を理解している。また、明治維新とその後の日本の変化を理解している。 基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた影響について歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、自分の言葉で表現しようとしている。また、帝国主義による世界分割により生じたアジア諸国の変容を国ごとに比較したり、関連付けたりしながら考察し、世界分割の歴史的意義を自分の言葉で表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易や市民革命や産業革命、明治維新が現代社会に与えた課題について粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。
2	単元4	13	中間	【単元名】 国際秩序の変化や大衆化と私たち ・第一次世界大戦と日本の対応 ・国際協調と大衆の広がり 【目標】 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、種買いを設定し、日本とそのほかの国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして第一次世界大戦の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。	**指導事項** 第3部国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章第一次世界大戦と日本の対応 2章国際協調と大衆の広がり ・第一次世界大戦と日本の対応 ・国際協調と大衆の広がり						【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦の勃発から終戦までの経緯と、参加各国の社会の変化について理解している。また、ヴェルサイユ体制によって形成られた国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制において、列強の戦闘員や非戦闘員、植民地の人々がどのような目的にで戦争に協力したかを歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、自分の言葉で表現している。また、戦後の新しい国際秩序と大衆社会の特徴について歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加およびヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と大衆社会の到来が現代社会が現代社会にどのような影響・課題をもたらしたか自ら問を設定し、粘り強く答えを出そうとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2	単元5	15	期末	【単元名】 国際秩序の変化や大衆と私たち 日本の行方と第二次世界大戦 再出発する日本 【目標】 世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策などを基に国際協調体制の動揺を理解する。また、第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と、日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 経済危機の背景や影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とそのほかの国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌から第二次世界大戦終結以降の特徴や変化などを多面的・多角的に考察し、表現する。	**指導事項** 第3部国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章第一次世界大戦と日本の対応 2章国際協調と大衆の広がり ・日本の行方と第二次世界大戦 ・再出発する日本						【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦までの経緯およびその後の冷戦構造の形成と国連を中心とする平和に向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦まで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力したのかを考察することができる。また、国連を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを歴史的な見方と考え方に基づいて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、粘り強く自らの答えを出そうとしている。また、冷戦構造と国連による平和維持体制における課題が現代社会にどのような影響を与えているかについて考察し、自ら答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。
3	単元6	13	学年末	【単元名】グローバル化と私たち ・冷戦で揺れる世界と日本 ・多様化する日本 ・グローバル化のなかの世界と日本 【目標】 冷戦下の国際情勢の変容、世界経済の拡大と経済成長下の日本社会、冷戦終結と地域統合の拡大・変容について理解する。 持続可能な社会の実現を視野に入れ、現代的な初回第二つながる歴史的観点から主題を設定し、日本とそのほかの国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたり、現代的初回代を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	**指導事項** 第4部グローバル化と私たち 1章冷戦で揺れる世界と日本 2章多様化する日本 3章グローバル化のなかの世界と日本 ・冷戦で揺れる世界と日本 ・多様化する日本 ・グローバル化のなかの世界と日本						【知識・技能】 55年体制の形成から高度経済成長の日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえてその中に位置付けて理解している。1960年代から冷戦終結までの過程を理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現できる。また、冷戦終結後のグローバル化の発展やナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を歴史的な見方・考え方に基づき自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の開始から終結までの各国の政治的・経済的選択が現代社会にどのような影響と課題をもたらしたか考察し、自ら答えを出そうとしている。また、冷戦終結後のグローバル化の進展がどのような課題を生み出したか考察し、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。

令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	数学	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	数学Ⅰ	3	105時間

対象学年組　第1学年　1組、　2組、　3組、　4組、　5組

使用教科書　数研出版 新編 数学Ⅰ

科目：「数学Ⅰ」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	数と式、図形と計量、2次関数およびデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量感の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価方法	・定期テスト	・定期テスト	・定期テスト ・学習状況等授業態度 ・提出物

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	30	1中間・1期末	【単元名】 数と式 【目標】 ・式を，既に学習した計算の方法と関連付けて，多面的に捉えたり，目的に応じて適切に変形したりする力を培う。 ・数の体系についての理解を深める。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに，不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり，具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	【指導項目】 数と式 【内容】 ・多項式 ・多項式の加法減法乗法 ・展開の公式 ・式の展開の工夫 ・因数分解 ・色々な因数分解 【指導項目】 実数 【内容】 ・実数 ・根号を含む式の計算 【指導項目】 1次不等式 【内容】 ・不等式 ・不等式の性質 ・1次不等式の解き方 ・連立不等式 ・不等式の利用						【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに，簡単な無理数の計算をすることができる。 ・2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに，1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
1・2	単元2	12	2中間	【単元名】 集合と命題 【目標】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し，それらを用いて論理的に考察し表現する力を培う。	【指導項目】 集合と命題 【内容】 ・集合と部分集合 ・共通部分、和集合、補集合 ・命題と集合 ・命題と証明						【知識・技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し，簡単な命題の証明をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を集合と論証の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2	単元3	24	1期末・2中間	【単元名】 2次関数 【目標】 ・一般の2次関数を取り扱うことで，関数概念の理解を深める。 ・2次関数の式とグラフとの関係について多面的に考察する力を培う。 ・2つの数量の関係に着目し，2次関数を活用して問題を解決する力を培う。	【指導項目】 2次関数とグラフ 【内容】 ・関数 ・関数とグラフ ・y=ax^2のグラフ ・y=ax^2+qのグラフ ・y=a(x−p)^2のグラフ ・y=a(x−p)^2+qのグラフ ・y=ax^2+bx?cのグラフ ・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定 【指導項目】 2次方程式と2次不等式 【内容】 ・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の共有点 ・2次不等式 ・2次不等式の利用						【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・2次次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・2次次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 ・2次次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し，2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
2・3	単元4	27	2期末・学年末	【単元名】 図形と計量 【目標】 ・正弦，余弦及び正接の意味，三角比の相互関係などを理解できるようにする。 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し定理や公式を導く力を培う。 ・日常の事象や社会の事象などを数的に捉え，三角比を活用して問題を解決する力を培う。	【指導項目】 三角比 【内容】 ・鋭角の三角比 ・三角比の利用 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・三角比が与えられたときの角 【指導項目】 正弦定理・余弦定理 【内容】 ・正弦定理 ・余弦定理 ・三角形の面積 ・図形の計量						【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し，定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
3	単元5	12	学年末	【単元名】 データの分析 【目標】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力を培う。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力を培う。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりする力を培う。	【指導項目】 データの分析 【内容】 ・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばり ・データの相関 ・相関係数 ・分割表 ・仮説検定の考え方						【知識・技能】 ・分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして，データを表やグラフに整理したり，分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	理科	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	化学基礎	3	105時間

対象学年組　第1学年　1組、　2組、　3組、　4組、　5組

使用教科書　啓林館 i版 化学基礎

科目：「化学基礎」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	物質に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、化学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質に関する事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、化学的に探究している。	物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、化学的に探究しようとしている。
評価方法	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	12	中間	【単元名】 化学と物質 【目標】 ㋐ 化学の特徴：日常生活や社会を支える身近な物質の性質を調べる活動を通して、物質を対象とする科学である化学の特徴について理解する。 ㋑ 物質の分離・精製：物質の分離や精製の実験などを行い、実験における基本操作を物質を探求する方法を身につける。 ㋒ 単体と化合物：元素を確認する実験などを行い、単体・化合物について理解する。 ㋓ 熱運動と物質の三態：粒子と熱運動の関係、粒子の熱運動と物質の三態変化との関係について理解する。	㋐化学の特徴 ・講義 ・定期テスト ・振り返りシート ㋑物質の分離 ・講義 ・実験 ・レポート ・定期考査 ・振り返りシート ㋒単体と化合物 ・講義 ・実験 ・レポート ・定期考査 ・振り返りシート ㋓熱運動と物質の三態 ・講義 ・定期考査 ・振り返りシート						[知識・技能] ・様々な混合物の分離方法を知り、実行することが出来る。 ・混合物を分離する上で知っていなければならない物質の性質の知識（単体・化合物・混合物、物質の三態、同素体など）が身についている。 [思考・判断・表現] ・様々な分離方法について、その原理を理解している。 ・分離の原理を説明できる。 ・混合物に含まれる物質の性質から、分離するための最適な方法を選ぶことが出来る。 [主体的に学習に取り組む態度] ・混合物の分離に関する実験等に進んで関わり、見通しをもった実験の実施、レポートの作成を行っている。 ・レポートを期日までに提出することができる ・レポートの課題に答えている。 ・レポートに不備があっても、間違いを訂正し、再び課題に取り組むことが出来る。
1	単元2	12	中間	【単元名】 物質の構成 【目標】 ㋐ 原子の構造：原子の構造を知り、原子番号からその内部構造を推測することができ、その原子の性質を予測することが出来る。 ㋑ 電子配置と周期表：元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の属や周期との関係について理解する。	㋐原子の構造 ・講義 ・小テスト ・定期テスト ・振り返りシート ㋑電子配置と周期表 ・講義 ・定期考査 ・振り返りシート						[知識・技能] 原子の構造を理解し、原子番号・質量数から原子内の構造や電子配置を推測することが出来る。 電子配置から、どのようなイオンになりやすいか推測することが出来る。 イオン化エネルギーについて理解し、原子の電子配置よりイオン化エネルギーの値の大小を推測することが出来る。 [思考・判断・表現] 原子番号と生成するイオンの関係性を説明することが出来る。 原子番号とイオン化エネルギーの関係を表すグラフを読み取ることが出来る。 [主体的に学習に取り組む態度] ・原子の構造に興味を持ち、講義や問題演習等に意欲的に取り組んでいる。 ・振り返りシートを期日までに提出している。 ・振り返りシートの質問に答えている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元3	16	期末	【単元名】 物質と化学結合 【目標】 ㋐ イオンとイオン結合：イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。 ㋑ 金属と金属結合：金属の性質及び金属結合を理解する。 ㋒ 分子と共有結合：共有結合を電子配置と関連付けて理解する。また、分子からなる物質の性質を理解する。	㋐イオンとイオン結合 ・講義 ・定期テスト ・振り返りシート ㋑金属と金属結合 ・講義 ・定期考査 ・振り返りシート ㋒分子と共有結合 ・講義 ・実験 ・レポート ・小テスト ・定期考査 ・振り返りシート						[知識・技能] 各結合がどのような結合様式かを理解している。 [思考・判断・表現] 各結合からなる物質の性質から、日常生活の場面でどの物質を使用することがよいか推測することが出来る。 [主体的に学習に取り組む態度] ・分子模型の作成に意欲的に取り組み、様々な分子性の物質の成り立ちや形から、物質の性質が決定されることに、意欲的に探究する。 ・レポートを期日までに提出することができる ・レポートの課題に答えている。 ・レポートに不備があっても、間違いを訂正し、再び課題に取り組むことが出来る。
2	単元4	13	中間	【単元名】 物質量 【目標】 原子や分子の個数を数えるために用いられる物質量という量について理解し、物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。	・講義 ・実験 ・レポート ・小テスト ・定期考査 ・振り返りシート						[物質量] 物質量について理解している。 物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解している。 質量パーセント濃度とモル濃度について理解している。 [思考・判断・表現] 物質量という単位が導入された経緯や理論などを考察している。 物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について深く考察している。 質量パーセント濃度とモル濃度について深く考察し、互いに単位変換を行うことが出来る。 [主体的に学習に取り組む態度] ・物質の個数を計算する実験に意欲的に取り組み、物質の量を量り取る工夫を考察し、意欲的に探究している。 ・レポートを期日までに提出することができる ・レポートの課題に答えている。 ・レポートに不備があっても、間違いを訂正し、再び課題に取り組むことが出来る。
2	単元5	10	中間	【単元名】 化学反応式 【目標】 化学反応に関する実験などを行い、化学反応式が化学反応に関する物質とその量的関係を表すことを見出して理解する。	・講義 ・実験 ・レポート ・小テスト ・定期考査 ・振り返りシート						[知識・技能] ・化学反応式の係数を決定できる。 ・物質の量的関係を計算できる。 ・正確で安全な実験操作を行うことが出来る。 ・実験の結果を正確にわかりやすく記述することが出来る。 [思考・判断・表現] ・実験の結果を表やグラフで表すことが出来る。 ・実験の結果を化学的な見方・考え方を用いて分析できる。 ・表やグラフから得られる結論を、化学的な見方・考え方を用いて説明できる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・化学反応式に関して意欲的に取り組み、化学反応における量的関係に化学的な見方・考え方で考察しようとする。 ・レポートを期日までに提出することができる ・レポートの課題に答えている。 ・レポートに不備があっても、間違いを訂正し、再び課題に取り組むことが出来る。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2	単元6	17	期末	【単元名】 酸と塩基 【目標】 酸と塩基の定義を理解し、酸と塩基に関する実験などを行い、酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。	・講義 ・実験 ・レポート ・小テスト ・定期考査 ・振り返りシート						[知識・技能] 酸と塩基の定義を知っている。 酸性、塩基性の物質を強弱、価数で分類できる。 中和反応を化学反応式で書き表すことが出来、量的関係を計算できる。 滴定実験を安全に正確に行うことが出来る。 [思考・判断・表現] ・実験の結果を表やグラフで表すことが出来る。 ・実験の結果を化学的な見方・考え方を用いて分析できる。 ・表やグラフから得られる結論を、化学的な見方・考え方を用いて説明できる。 ・中和反応に関して、なぜそのような反応・現象が起こるかなどを化学的な見方・考え方を用いて説明できる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・酸・塩基、中和反応に関して興味を持ち、講義や実験に意欲的に取り組んでいる。 ・レポートを期日までに提出することができる ・レポートの課題に答えている。 ・レポートに不備があっても、間違いを訂正し、再び課題に取り組むことが出来る。
2	単元7	14	期末	【単元名】 酸化と還元 【目標】 酸化と還元の定義を理解し、酸化と還元に関する実験などを行い、酸化還元反応に関与する物質の量的関係を理解する。	・講義 ・実験 ・レポート ・小テスト ・定期考査 ・振り返りシート						[知識・技能] 酸化と還元の定義を知っている。 酸化還元反応を化学反応式で書き表すことが出来、量的関係を計算できる。 滴定実験を安全に正確に行うことが出来る。 イオン化傾向から反応性を説明できる。 [思考・判断・表現] ・実験の結果を表やグラフで表すことが出来る。 ・実験の結果を化学的な見方・考え方を用いて分析できる。 ・表やグラフから得られる結論を、化学的な見方・考え方を用いて説明できる。 ・酸化還元反応に関して、なぜそのような反応・現象が起こるかなどを化学的な見方・考え方を用いて説明できる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・酸化・還元に関して興味を持ち、講義や実験に意欲的に取り組んでいる。 ・レポートを期日までに提出することができる ・レポートの課題に答えている。 ・レポートに不備があっても、間違いを訂正し、再び課題に取り組むことが出来る。
3	単元8	11	期末	【単元名】 電池と電気分解 【目標】 電池の仕組みを理解し、電池内部で起こる酸化還元反応を化学反応式で表すことが出来る。 電気分解の反応を理解し、電気分解の際に起こる酸化還元反応を化学反応式で表すことが出来る。 化学反応式から、電池・電気分解で関与する物質の量的関係を計算できるようになる。	・講義 ・実験 ・レポート ・小テスト ・定期考査 ・振り返りシート						[知識・理解] ・イオン化傾向の大小から、電池の原理を説明できる。 ・電気分解によって、陽極・陰極で何が発生するか推測できる。 ・化学反応式から量的関係を計算できる。 [思考・判断・表現] ・実験の結果を表やグラフで表すことが出来る。 ・実験の結果を化学的な見方・考え方を用いて分析できる。 ・表やグラフから得られる結論を、化学的な見方・考え方を用いて説明できる。 ・電池や電気分解に関して、なぜそのような反応・現象が起こるか、そのような工夫をする意味があるかなどを化学的な見方・考え方を用いて説明できる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・電池・電気分解に関して興味を持ち、講義や実験に意欲的に取り組んでいる。 ・レポートを期日までに提出することができる ・レポートの課題に答えている。 ・レポートに不備があっても、間違いを訂正し、再び課題に取り組むことが出来る。

令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	保健体育	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	体育	2	70時間

対象学年組　第1学年1組、2組、3組、5組男子

使用教科書　現代高等学校保健体育

科目：「体育」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価方法	観察（技能など） テスト レポート ワークシート	観察（学習、ペア・グループ活動など） テスト レポート ワークシート 振り返り	観察（学習、ペア・グループ活動など） 生徒による自己評価や相互評価

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	2	中間・期末	【単元名】 体育理論・オリエンテーション 【目標】 運動時のルールや行い方の理解を深め、運動を他者と協働的に行うために自らの役割を果たせるようにする。	・授業オリエンテーション ・教材、1台端末の活用方法 ・各種目実施上の留意点						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
1	単元2	8	中間・期末	【単元名】 スポーツテスト 【目標】 自分の体力の現状を把握し、自ら課題を設定し、基礎体力の向上をねらう。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
1	単元3	8	中間・期末	【単元名】 陸上競技・体育祭種目練習 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元4	12	中間・期末	【単元名】 水泳 【目標】 安全な入水方法を学び事故の防止の意識を高める。 クロールと平泳ぎの技能の習得	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
2	単元5	12	中間・期末	【単元名】 ソフトボール 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
2	単元6	12	中間・期末	【単元名】 バレーボール 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
2	単元7	16	中間・期末	【単元名】 持久走 【目標】 長い距離を走りきることで、精神力と持久力を高め、基礎体力の向上を目標とする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。

令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	保健体育	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	体育	2	70時間

対象学年組　第1学年1組、2組、3組、4組、5組女子

s　現代高等学校保健体育

科目：「体育」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価方法	観察（技能など） テスト レポート ワークシート	観察（学習、ペア・グループ活動など） テスト レポート ワークシート 振り返り	観察（学習、ペア・グループ活動など） 生徒による自己評価や相互評価

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	2	中間・期末	【単元名】 体育理論・オリエンテーション 【目標】 運動時のルールや行い方の理解を深め、運動を他者と協働的に行うために自らの役割を果たせるようにする。	・授業オリエンテーション ・教材、1台端末の活用方法 ・各種目実施上の留意点						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
1	単元2	8	中間・期末	【単元名】 スポーツテスト 【目標】 自分の体力の現状を把握し、自ら課題を設定し、基礎体力の向上をねらう。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
1	単元3	8	中間・期末	【単元名】 陸上競技・体育祭種目練習 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元4	12	中間・期末	【単元名】 水泳 【目標】 安全な入水方法を学び事故の防止の意識を高める。 クロールと平泳ぎの技能の習得	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
2	単元5	12	中間・期末	【単元名】 アルティメット 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
2	単元6	12	中間・期末	【単元名】 バレーボール 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
3	単元7	16	中間・期末	【単元名】 持久走 【目標】 長い距離を走りきることで、精神力と持久力を高め、基礎体力の向上を目標とする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。

令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	保健体育	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	保健	1	35時間

対象学年組　第1学年1組～4組

使用教科書　現代高等保健体育

科目：「保健」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	・健康について理解する。 ・健康の保持増進為に適切な日常生活を過ごすことができる。 ・集団の健康に関して自らの役割の重要性に気付く。	・望ましいライフスタイルを立案することができる。 ・正しい知識を蓄積することができる。 ・自己の健康状態を分析している。 ・知識を学習や生活に生かすことができる。	・他者を尊重しようとする。 ・集団討論により協働的に課題を解決しようとする。 ・健全な健康社会に貢献しようとする。
評価方法	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	2	期末	【単元名】 健康の考え方と成り立ち 【目標】 ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。	・健康についての多様な考え方 ・健康の成り立ちとその要因						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
1	単元2	1	期末	【単元名】 私たちの健康のすがた 【目標】 ・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。	・わが国における健康水準の向上 ・我が国における健康問題の変化						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
1	単元3	2	期末	【単元名】 生活習慣病の予防と回復 【目標】 ・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・生活習慣病の一次予防，二次予防について例をあげて説明できる。	・生活習慣病とその種類 ・予防から回復まで						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元4	1	期末	【単元名】 がんの原因と予防 【目標】 ・がんの種類や原因について説明できる。 ・がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。	・がんとその種類 ・がんの予防						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元5	1	期末	【単元名】 がんの治療と回復 【目標】 ・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。	・がんの治療と回復 ・がんとともに生きる社会づくり						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元6	2	期末	【単元名】 運動と健康 【目標】 ・健康と運動の関係について説明できる。 ・目的に応じた健康的な運動のしかたについて例をあげて説明できる。	・運動の意義 ・よい運動の仕方						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元7	2	期末	【単元名】 運動と健康 【目標】 ・食事と健康の関係について説明できる。 ・健康的な食事のとり方について説明できる。	・健康的な食生活の意義 ・よい食事のとり方						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元8	1	期末	【単元名】 休養・睡眠と健康 【目標】 ・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。 ・健康と睡眠の関係及び健康によい睡眠のとり方について説明できる。	・休養、睡眠の意義						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
3	単元9	2	期末	【単元名】 喫煙と健康 【目標】 ・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 ・喫煙対策について，個人と社会に分けて例をあげて説明できる。	・喫煙の影響 ・喫煙への対策						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
3	単元10	2	期末	【単元名】 飲酒と健康 【目標】 ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。	・飲酒の影響 ・飲酒への対策						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
3	単元11	2	期末	【単元名】 薬物乱用と健康 【目標】 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができる。	・薬物乱用の健康影響 ・薬物乱用の要因と対策						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
	単元12	2	期末	【単元名】 精神疾患の特徴 【目標】 ・精神疾患の例をあげ，発病の要因とおもな症状について説明できる。 ・現代社会における精神保健の課題をあげることができる。	・精神疾患の要因と種類 ・精神保健の今日的課題						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
	単元13	2	期末	【単元名】 精神疾患の予防 【目標】 ・精神疾患を予防する方法について説明できる。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。	・日常生活における精神疾患の予防 ・精神疾患の早期発見、早期治療						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
	単元14	2	期末	【単元名】 精神疾患からの回復 【目標】 ・精神疾患の治療について例をあげて説明できる。 ・精神疾患の適切な治療や回復のためには，どのような社会環境が必要か説明できる。	・専門家による支援と治療 ・社会環境の整備						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
	単元15	2	期末	【単元名】 現代の感染症 【目標】 ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 ・新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。	・感染症とは ・さまざまな感染症						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
	単元16	2	期末	【単元名】 感染症の予防 【目標】 ・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 ・感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。	・感染症予防の3原則 ・現代の感染症対策						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
	単元17	2	期末	【単元名】 性感染症・エイズとその予防 【目標】 ・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。 ・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。	・性感染症、エイズとは ・性感染症、エイズの予防						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
	単元18	2	期末	【単元名】 健康に関する意思決定・行動選択 【目標】 ・意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 ・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。	・意思決定・行動選択とそれに影響を与える要因 ・適切な意思決定・行動選択を実現する工夫						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
	単元19	1	期末	【単元名】 健康に関する環境づくり 【目標】 ・社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる。	・健康を保持増進するための環境 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくり						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
	単元20	2	期末	【単元名】 安全な交通社会づくり 【目標】 様々な疾病やその要因に関しての理解を深めることで、望ましいライフスタイルを考え、個人のみならず集団の健康に寄与する能力を育てる。	・法的整備と施設の充実 ・車の安全性の向上						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。

令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	芸術	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	音楽Ⅰ	2	70時間

対象学年組　第1学年1組、2組、3組、4組、5組

使用教科書　Mousa1（教芸）

科目：「音楽Ⅰ」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
評価方法	実技小テスト 筆記小テスト	実技テスト グループ発表 鑑賞感想ワークシート チェックシート 行動観察	実技テスト グループ発表 鑑賞感想ワークシート チェックシート 行動観察

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞		評価基準（おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	6		【単元名】 歌唱（斉唱、合唱） 【目標】 歌唱の活動を通して、発声の仕組みや読譜の基礎について理解し、発声法やリズム感、音高感を身につけ、主体的に取り組みながら声で音楽表現することや仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。	・指導事項 発声法、読譜の基礎、リズム感、音高感、歌詞の意味 ・教材 教科書、プリント	○					【知識・技能】 発声の仕組み、読譜の基礎を理解し、発声法、リズム感、音高感の基本を身につけている。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 歌唱法の基礎の理解、歌唱法の基本の修得にむけ、主体的・協働的に取り組もうとしている。
1	単元2	6		【単元名】 器楽（リズム・アンサンブル） 【目標】 リズム・アンサンブルの活動を通して、読譜の基礎について理解し、リズム感を身につけ、アンサンブル全体のリズムを聴きながら自分のパートを適切に演奏し、曲種・曲想にふさわしい表現の仕方を工夫するとともに、主体的・協働的に取り組みながら音楽表現することや仲間と一緒に演奏することの楽しさをを感じ取ろうとしている。	・指導事項 読譜の基礎、リズム感、アンサンブル感 ・教材 教科書、プリント		○				【知識・技能】 読譜の基礎を理解し、リズム感の基本を身につけている。 【思考・判断・表現】 アンサンブル全体のリズムを聴きながら自分のパートを適切に演奏でき、曲種や曲想にふさわしい表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に取り組みながら、リズム・アンサンブルの楽しさを感じ取ろうとしている。
1	単元3	6		【単元名】 器楽（鍵盤楽器） 【目標】 鍵盤楽器の活動を通して、楽器の仕組みや読譜の基礎について理解し、奏法の基本やリズム感を身につけ、アンサンブル全体の旋律やリズムを聴きながら自分のパートを適切に演奏し、楽器の特性や曲種、曲想にふさわしい表現の仕方を考えるとともに、主体的・協働的に取り組みながら楽器で音楽表現することや仲間と一緒に演奏することの楽しさをを感じ取ろうとしている。	・指導事項 読譜の基礎、演奏法の基礎、リズム感、アンサンブル感 ・教材 電子鍵盤楽器、プリント		○				【知識・技能】 鍵盤楽器の構造や読譜の基礎を理解し、奏法やリズム感の基本を身につけている。 【思考・判断・表現】 アンサンブル全体の旋律やリズムを聴きながら自分のパートを適切に演奏でき、楽器や曲種、曲想にふさわしい表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に取り組みながら、鍵盤楽器演奏の楽しさを感じ取ろうとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	表現			鑑賞		評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
						歌	器	創			
1	単元4	6		【単元名】 鑑賞（舞台芸術） 【目標】 鑑賞の活動を通して、世界の様々な舞台芸術が生まれ、それぞれ独自の発展を遂げてきた代表的な作品を知り、理解しする。また、それらの表現の特徴を比較し、文章で表現するとともに、それらの文化・歴史的背景や人間の生活、社会とのつながりについて考えを深め、舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ取ろうとしている。	・指導事項 舞台芸術が有する音楽言語や構造、文化・歴史的背景 ・教材 映像教材、録音教材、教科書、プリント				○		【知識・技能】 舞台芸術が持っている固有あるいは共通の音楽言語や構造について理解している。 【思考・判断・表現】 舞台芸術が持っている意味や美しさ、表現内容などを感受し、それを文章で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組みながら、舞台芸術が持っている文化・歴史的背景や人間の生活、社会とのつながりについて興味を持ち、考えを深め、舞台芸術を鑑賞することの喜びを感じ取ろうとしている。
2	単元5	6		【単元名】 歌唱（斉唱、合唱） 【目標】 歌唱の活動を通して、発声の仕組みや読譜の基礎について理解し、発声法やリズム感、ハーモニー感覚を身につけ、合唱全体の響きを聴きながら自分のパートを適切に演奏し、声の特性や曲種、曲想、歌詞の意味にふさわしい表現の仕方を考えるとともに、主体的・協働的に取り組みながら声で音楽表現することや仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。	・指導事項 発声法、読譜の基礎、リズム感、ハーモニー感、歌詞の意味 ・教材 教科書、プリント	○					【知識・技能】 発声の仕組み、読譜の基礎を理解し、発声法、リズム感、ハーモニー感の基本を身につけている。 【思考・判断・表現】 合唱全体の響きを聴きながら自分のパートを適切に演奏し、声の特性や曲種、曲想、歌詞の意味にふさわしい表現の仕方を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に取り組みながら声で音楽表現することや仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。
2	単元6	11		【単元名】 歌唱+器楽（沖縄歌三線） 【目標】 沖縄歌三線の活動を通して、楽器の構造や独自の記譜法について理解し、奏法の基本や三線にふさわしい演奏感覚を身につけ、三線を弾きながら沖縄の伝統的な節回しを意識して歌うことができるとともに、主体的・協働的に取り組みながら沖縄歌三線戦争の楽しさをを感じ取ろうとしている。	・指導事項 沖縄三線の歴史、楽器の仕組み、記譜法、奏法の基礎、歌三線の演奏法 ・教材 カンカラ三線、プリント	○	○				【知識・技能】 三線の構造や独自の記譜法を理解し、奏法の基本や三線にふさわしい演奏感覚を身につけている。 【思考・判断・表現】 三線を弾きながら沖縄の伝統的な節回しを意識して歌うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く主体的・協働的に取り組みながら、沖縄歌三線演奏の楽しさを感じ取ろうとしている。
2	単元7	9		【単元名】 鑑賞（沖縄民謡、古典派の音楽、ロマン派の音楽） 【目標】鑑賞の活動を通して、様々な音楽が持っている固有あるいは共通の音楽言語や構造について理解し、それらの意味や美しさ、表現内容などを感受し、文章で表現するとともに、それらの文化・歴史的背景や人間の生活、社会とのつながりについて考えを深め、音楽を聴くことの喜びを感じ取ろうとしている。	・指導事項 それぞれの音楽が有する音楽言語や構造、文化・歴史的背景 ・教材 映像教材、録音教材、教科書、プリント				○		【知識・技能】 様々な音楽が持っている固有あるいは共通の音楽言語や構造について理解している。 【思考・判断・表現】 様々な音楽が持っている意味や美しさ、表現内容などを感受し、それを文章で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組みながら、様々な音楽が持っている文化・歴史的背景や人間の生活、社会とのつながりについて考えを深め、音楽を聴くことの喜びを感じ取ろうとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	表現			鑑賞		評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
						歌	器	創			
3	単元8	5		【単元名】 歌唱（斉唱、合唱） 【目標】 歌唱の活動を通して、発声の仕組みや読譜の基礎について理解し、発声法やリズム感、ハーモニー感覚を身につけ、合唱全体の響きを聴きながら自分のパートを適切に演奏し、声の特性や曲種、曲想、歌詞の意味にふさわしい表現の仕方を考えるとともに、主体的・協働的に取り組みながら声で音楽表現することや仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。	・指導事項 発声法、読譜の基礎、リズム感、ハーモニー感、歌詞の意味 ・教材 教科書、プリント	○					【知識・技能】 発声の仕組み、読譜の基礎を理解し、発声法、リズム感、ハーモニー感の基本を身につけている。 【思考・判断・表現】 合唱全体の響きを聴きながら自分のパートを適切に演奏し、声の特性や曲種、曲想、歌詞の意味にふさわしい表現の仕方を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に取り組みながら声で音楽表現することや仲間と一緒に歌うことの楽しさを感じ取ろうとしている。
3	単元9	8		【単元名】 器楽（ミュージックベル） 【目標】 ミュージックベルの活動を通して、楽器の仕組みや読譜の基礎について理解し、奏法やアンサンブル方法の基本を身につけ、アンサンブル全体の旋律を聴きながら自分のパートを適切に演奏し、楽器の特性や曲種・曲想にふさわしい表現の仕方を工夫するとともに、主体的・協働的に取り組みながら、仲間と協力してミュージックベルを演奏することの楽しさをを感じ取ろうとしている。	・指導事項 楽器の仕組み、読譜の基礎、演奏法 ・教材 ミュージックベル、プリント		○				【知識・技能】 ミュージックベルの仕組みや読譜の基礎を理解し、奏法やアンサンブル方法の基本を身につけている。 【思考・判断・表現】 アンサンブル全体の旋律やリズムを聴きながら自分のパートを適切に演奏でき、楽器の特性や曲種、曲想にふさわしい表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に取り組みながら、仲間と協力してミュージックベルを演奏することの楽しさを感じ取ろうとしている。
3	単元10	7		【単元名】 創作（変奏、編曲、オノマトペでリズムアンサンブル、コード進行による旋律作り） 【目標】 創作活動を通して、記譜について理解し、それらを活用し実践することで、自らの音楽を創造しようとしている。	・指導事項 記譜、リズム感、 コードについて、 ・教材 教科書、電子鍵盤楽器、プリント			○			【知識・技能】 記譜の基礎やコード進行について理解し、旋律を作曲し、リズム感を身につけている。 【思考・判断・表現】 変奏、編曲、リズムや旋律を工夫し、自らの音楽を創造し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 変奏、編曲、リズムアンサンブル、コード進行による旋律の創作活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。

令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	芸術	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	美術Ⅰ	2	70時間

対象学年組　第1学年1組、2組、3組、4組、5組

使用教科書　美術Ⅰ（光村）

科目:「美術Ⅰ」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	デッサン、木彫レリーフ、デザインの基本的な表現方法を理解する。 誠実に製作し、基本的な技能を身につけることができる。	基本的な表現方法を理解し、課題に沿った表現を判断、思考する力を養うことができる	美術作品の美しさを理解し、尊重することができる。 美術表現を通して自分の想いや考えを他者に伝えることができる
評価方法	ワークシート提出 作品提出 授業態度	ワークシート提出 作品提出 授業態度	ワークシート提出 作品提出 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返りシート提出

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	表現			鑑賞		評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
						絵・彫	デ	映			
1	単元1	2	中間・期末	【単元名】 絵画表現基礎 鉛筆デッサン 鉛筆の濃淡 【目標】 鉛筆のグラデーションのワークシートを通して、鉛筆表現の濃淡について理解する。 鉛筆の削り方を学び、描写に適した削り方を工夫する。 刃物の扱い方を学ぶ。	・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス	○			○		【知識・技能】 基本的な鉛筆の使い方、削り方を理解できる。 立体的な描写技術を習得できる。 陰影表現を理解し描ける。 中心線、補助線を描き形をとらえることができる。 物の持つ質感を描ける。 【思考・判断・表現】 構図を理解し、モチーフを生かした質感や表現を判断して取り組める。 【主体的に学習に取り組む態度】 全体のバランスを把握し、細部の描写まで意欲的に取り組める。
1	単元2	4	中間・期末	【単元名】 絵画表現基礎 鉛筆デッサン・紙コップ 基本の形、円と円柱を描く 【目標】 基本の形の取り方のワークシートを通して、円、円柱の描き方について理解する。 陰影について考える。 鉛筆の濃淡で紙コップの陰影を表現しようとしている。	・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス	○			○		【知識・技能】 基本的な鉛筆の使い方、削り方を理解できる。 立体的な描写技術を習得できる。 陰影表現を理解し描ける。 中心線、補助線を描き形をとらえることができる。 物の持つ質感を描ける。 【思考・判断・表現】 構図を理解し、モチーフを生かした質感や表現を判断して取り組める。 【主体的に学習に取り組む態度】 全体のバランスを把握し、細部の描写まで意欲的に取り組める。
1	単元3	4	中間・期末	【単元名】 絵画表現基礎 鉛筆デッサン・折り鶴 不定形な形のデッサン 【目標】 折り鶴のデッサンを通して不定形の複雑な形の取り方、描き方について理解する。 陰影について考える。 鉛筆の濃淡で折り鶴の陰影を表現しようとしている。 細部まで描写しようとする。	・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス	○			○		【知識・技能】 基本的な鉛筆の使い方、削り方を理解できる。 立体的な描写技術を習得できる。 陰影表現を理解し描ける。 中心線、補助線を描き形をとらえることができる。 物の持つ質感を描ける。 【思考・判断・表現】 構図を理解し、モチーフを生かした質感や表現を判断して取り組める。 【主体的に学習に取り組む態度】 全体のバランスを把握し、細部の描写まで意欲的に取り組める。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	表現			鑑賞		評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
						絵・彫	デ	映			
1	単元4	6	中間・期末	【単元名】 絵画表現基礎 鉛筆デッサン・水をいれたプラスチックコップのデッサン 透明なモチーフのデッサン 【目標】 透明なモチーフの描き方について理解する。 陰影について考える。 鉛筆の濃淡で透明コップの複雑な陰影を表現しようとしている。 細部まで描写しようとする。	・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス	○			○		【知識・技能】 基本的な鉛筆の使い方、削り方を理解できる。 立体的な描写技術を習得できる。 陰影表現を理解し描ける。 中心線、補助線を描き形をとらえることができる。 物の持つ質感を描ける。 【思考・判断・表現】 構図を理解し、モチーフを生かした質感や表現を判断して取り組める。 【主体的に学習に取り組む態度】 全体のバランスを把握し、細部の描写まで意欲的に取り組める。
1	単元5	8	中間・期末	【単元名】 絵画表現基礎 ペンで空想の世界を描く 自分の世界を表現する 【目標】 ぺんで描くワークシートを使ってペンの表現、描き方を学ぶ。 画面の隅々まで描きこみ、自分の世界を細部にわたり描写しようとする。	・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・端末から参考画像検索 ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス	○			○		【知識・技能】 練習プリントにより、線描画の技術を理解できる。 白黒のコントラスト調整ができている。 【思考・判断・表現】 構図への工夫、作品の内容、アイデアが豊かである。 線の密度があり、強弱の表現が理解されている。 【主体的に学習に取り組む態度】 完成までの制作過程を理解し制作を進められる。 ペン画の表現を理解し丁寧に作品化できる。
1	単元6	2	中間・期末	【単元名】 絵画表現基礎 鉛筆で描く 植物参考図から描く 【目標】 植物の曲線的な形の美しさについて理解する。 植物の美しさを絵画で表現しようとしている。 細部まで描写しようとする。	・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・端末から参考画像検索 ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス	○			○		【知識・技能】 植物の持つ複雑な形、美しさを描画で表現することができる。 ワークシートで植物画を参考にしながら、タブレットの画像を参考に、曲線の美しさを表現できる 【思考・判断・表現】 植物の持つ曲線の美しさを理解できる。 鉛筆で植物の形を細部まで丁寧に作品化できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 構図への工夫、作品の内容、アイデアが豊かである。
2	単元7	6	中間・期末	【単元名】 木彫うき彫り制作 彫刻制作 【目標】古代から植物をモチーフにした唐草模様などの歴史を鑑賞を通して知る。鑑賞して学んだ知識をもとに唐草模様のような連続する植物のデザインを考える。	・教科書・タブレット・鑑賞作品・自分の描いたスケッチ・振り返りカード・デザインワーク。ワークのラフスケッチ（スケッチブックを利用する）	○			○		【知識・技能】 鑑賞を通して古代の植物のモチーフを知る。 【思考・判断・表現】 古代の植物デザインを参考に自分でも制作してみる 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の作品制作への意欲をもつ
2	単元8	8	中間・期末	【単元名】 木彫うき彫り制作 彫刻制作 【目標】決めたモチーフを反転したり、反復したり、構図を工夫して自分の生活の身の回りに置く「木彫作品」にふさわしいデザインンを決定する。決定したデザインを材料に転写する。木彫の基礎技能を試す。	・教科書・タブレット・鑑賞作品・自分の描いたスケッチ・振り返りカード・デザインワーク。ワークのラフスケッチ（スケッチブックを利用する）・途中評価とグループでの相互評価・アドバイス。木彫試行の板	○			○		【知識・技能】 転写する技術を身に付ける。木彫の基礎技能を確認する。 【思考・判断・表現】 古代の植物デザインを参考に自分でも制作する。より良いデザインの工夫や思考をする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の作品制作への意欲をもつ

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	表現			鑑賞		評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
						絵・彫	デ	映			
2	単元9	8	中間・期末	【単元名】 木彫うき彫り制作 彫刻制作 【目標】試行した木彫作品を参考にしながら安全に彫り進める。レリーフとして彫りの高低を考える。	・教科書・タブレット・自分の描いたスケッチ・振り返りカード・木彫の板. 形成評価を行い、技法や技能についての定着を図る。	○	○		○		【知識・技能】安全に留意し彫刻刀を使用する。 【思考・判断・表現】 木彫のレリーフの美しさに気づき、彫の高低をつける。 【主体的に学習に取り組む態度】より良い作品にするために次週に向けて振り返りカードへ次の行程を考えることができる。
2	単元10	4	中間・期末	【単元名】 木彫うき彫り制作 彫刻制作 【目標】木材の特徴を考え、紙やすりを使い仕上げをする。安全に留意し、塗装を行う。仕上がりの美しさを考える。写真に撮って保存する。	・教科書・タブレット・自分の描いたスケッチ・振り返りカード・木彫の板. 形成評価を行い、技法や技能についての定着を図る。	○	○	○	○		【知識・技能】 安全に留意し、塗装の技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 木彫のレリーフの美しさに気づき、彫の高低をつけた上で、一部に彩色を施す。 【主体的に学習に取り組む態度】より良い作品にするために彩色を工夫するなど、次の行程を考えることができる。
2	単元11	2	中間・期末	【単元名】 木彫うき彫り制作 彫刻制作 【目標】出来上がった作品を生活の身近な場所に置いてみる。置いた作品をもとにお互いに鑑賞する。鑑賞の観点は、植物をもとにしたデザイン。自分の身の回りを彩るデザインのあり方を考える。	・教科書・タブレット・自分の作品の写真・振り返りカード・完成した作品。	○	○	○	○		【知識・技能】 自分の身の回りのデ身近なザインに作品を通して気づく。 【思考・判断・表現】 友人の作品の鑑賞を通して、デザインの美しさや昔からの伝統のデザインについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の完成した作品に愛着を持ち、次の作品制作への意欲をもつ。
3	単元12	14	中間・期末	【単元名】 消しゴムハンコを使ったブックカバーデザイン 【目標】 消しゴムハンコのワークシートを通して、版の仕組みについて理解する。 版を使って連続模様のブックカバーデザインを考えようとしている。 デザインの効果や配置、画面構成について考えようとしている。	・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス		○		○		【知識・技能】 想定課題を理解して、基礎的な版表現、平面構成の課題内容の把握、彫りの技術の習得ができる。 【思考・判断・表現】 アイデアを思案し、連続模様の配置や構成のコントラスト、強弱を理解し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図案の工夫がされており、集中して取り組めたか。
3	単元13	2	中間・期末	【単元名】 グリーティングカード制作 【目標】 グリーティングカード制作を通して、紙の造形の美しさについて理解する。カード仕組みを考える。造形の美しさを理解し制作しようとしている。	・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・生徒各自の制作 ・制作へのアドバイス		○		○		【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に課題を理解し、計画的に完成できたか。意欲的に課題に取り組めたか。

令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	外国語科	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	英語コミュニケーションⅠ	3	105時間

対象学年組　第1学年　全組

使用教科書　数研出版　COMET English Communication Ⅰ

科目：「英語コミュニケーションⅠ」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	英語の表現やその背景にある文化についての知識・技能を身につけており、さらに理解を深めようとしている	習得した英語の表現やその背景にある文化についての知識・技能を用いて思考を深め、主体的に表現しようとしている	主体的に他者と円滑に英語で意思疎通を図るためのコミュニケーション・スキルを持ち、意思疎通を図ろうとしている
評価方法	定期テスト（記述問題を含む） 小テスト ベーシックノート・ワークシート 基本文法定着ドリル	定期テスト（記述問題を含む） 小テスト ベーシックノート・ワークシート 基本文法定着ドリル 観察（学習状況、討論・発表など） 学習の振り返り	ベーシックノート・ワークシート 基本文法定着ドリル 観察（学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り、定期テスト（記述問題を含む） 小テスト等

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域 聞	領域 読	領域 話（やり）	領域 話（発表）	領域 書	評価基準（おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	9	中間	【単元名】 Introduction, Get Ready 1～4 基礎を復習する 【目標】 単語の書き方や英和辞典の使い方を復習し、中学校の既習事項である英文法の基礎を理解し習熟する。	英文法の基礎を理解させる。	○	○	○		○	【知識・技能】 単語の書き方や英和辞典の使い方を理解している。中学校の既習事項である英文法の基礎を理解し、教科書の内容を把握する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 中学校の既習事項である英文法の基礎を理解した上で、教科書の概要や要点を把握しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 英文法の基礎を理解した上で、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。
1	単元2	10	中間・期末	【単元名】 Lesson 1 What did you do in Japan? 【目標】 海外旅行サイトの掲示板の投稿者が日本で体験したことについて，概要や要点を把握することができる。 be動詞・一般動詞の過去形を理解し習熟する。	be動詞・一般動詞の現在形を理解させる。	○	○	○			【知識・技能】 動詞の過去形に関する事項を理解している。 動詞の過去形の用法に関する理解をもとに，各投稿者の日本での体験について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 【思考・判断・表現】 各投稿者の日本での体験について理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文の内容に関連して，投稿者の回答や自分の好きな場所について，学習した語彙や言語材料を用いて，自分の意見を話したり書いたりしている。
1	単元3	12	期末	【単元名】 Lesson 2 When do you feel happy? 【目標】 本文の内容（ダイキが熱中していること／ダンス）を読み，概要や要点を把握することができる。 動詞の進行形について理解する。 be動詞・一般動詞の過去形を理解し習熟する。	be動詞・一般動詞の過去形を理解させる。	○	○	○			【知識・技能】 動詞の進行形の用法に関する理解をもとに，ダンスについてのダイキとアナの会話を読み取る能力を身につけている。 【思考・判断・表現】 ダイキが熱中していることやその理由について理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダイキとアナの会話の内容を読み取り，概要や要点を把握しようとしている。 基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域					評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
						聞	読	話（やり）	話（発）	書	
2	単元4	13	中間	【単元名】 Lesson 3 Onigiri Goes Overseas 【目標】 現在進行形・過去進行形を理解し習熟する。 海外でのおにぎりの人気について知る。	現在進行形・過去進行形を理解させる。	○	○	○			【知識・技能】 助動詞に関する事項を理解している。 助動詞の用法に関する理解をもとに，おにぎりの海外での人気について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 【思考・判断・表現】 おにぎりの海外での人気とその理由について理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文の内容に関連して，和食やおにぎりについて，学習した語彙や言語材料，TOOL BOXの語句を用いて，自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。
2	単元5	13	中間・期末	【単元名】 Lesson 4 Pictograms 【目標】 シンプルな記号で意味を伝えるピクトグラムについて理解する。 助動詞・動名詞を理解し習熟する。	助動詞・動名詞を理解させる。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 助動詞・動名詞に関する事項を理解している。 動作を表すときの表現の意味や働きを理解している。ピクトグラムやジェスチャーについて、助動詞・動名詞や、説明の中での動作を表すときの表現に注意しながら、本文の内容を把握する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ピクトグラムやジェスチャーについて、必要な情報の理解を深めるために、発表の概要や要点を把握しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 オリンピックやピクトグラムや自分のできることについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 趣味について、基本的な語句や文を用いて、主体的に発表しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域					評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
						聞	読	話（やり）	話（発）	書	
2	単元6	12	期末	【単元名】 Lesson 5 Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler 【目標】 ファシリィティドッグとそのハンドラーの仕事について知る。 動名詞を理解し習熟する。	動名詞を理解させる。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 動名詞に関する事項を理解している。 動名詞の用法に関する理解をもとに，ファシリティドッグやハンドラーの仕事についての森田優子さんのインタビューを読み取る能力を身につけている。 【思考・判断・表現】 ファシリティドッグやハンドラーの仕事について理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ファシリティドッグやハンドラーの仕事について理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握しようとしている。 本文の内容に関連して，動物やペット／ハンドラーの仕事について，学習した語彙や言語材料，TOOL BOXの語句を用いて，自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。
3	単元7	12	学年末	【単元名】 Lesson 6 Convenience Stores: Keys to Their Success 【目標】 コンビニエンスストアの工夫について理解を深める。 That節を理解し習熟する。	that節を理解させる。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 that節に関する事項を理解している。 that節の用法に関する理解をもとに，コンビニエンスストアの成功のかぎについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 【思考・判断・表現】 コンビニエンスストアの成功のかぎついて理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンビニエンスストアの成功のかぎについて理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握しようとしている。 本文の内容に関連して，コンビニエンスストア、好きな店や買い物をする場所について，学習した語彙や言語材料，TOOL BOXの語句を用いて，自分の意見を話したり書いたりしようとしている。
3	単元8	13	学年末	【単元名】 Lesson 7 High School Aquarium 【目標】 高校の水族館部の生徒たちの活動について理解を深める。 受動態を理解し習熟する。	現在完了形を理解させる	○	○	○		○	【知識・技能】 現在完了形に関する事項を理解している。 現在完了形の用法に関する理解をもとに，高校の水族館部の活動や将来設計についての生徒のインタビューを読み取る能力を身につけている。 【思考・判断・表現】 高校の水族館部の活動について理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 高校の水族館部について理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握しようとしている。 本文の内容に関連して，クラブ活動、水族館や社交性，将来設計について，学習した語彙や言語材料，TOOL BOXの語句を用いて，自分の意見を話したり書いたりしようとしている。
3	単元9	11	学年末	【単元名】 Lesson 8 Smart Farming 【目標】 受け身に関する事項を理解する。 スマート農業の具体例や利点について書かれた文章を読み取る能力を身につける。	受け身を理解させる。	○	○	○		○	【知識・技能】 受け身の用法に関する理解をもとに，スマート農業の具体例や利点について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 【思考・判断・表現】 スマート農業について、理解を深めるために、発表を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スマート農業について理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握しようとしている。 本文の内容に関連して，スマート農業やドローン、農業に従事することについて，学習した語彙や言語材料，TOOL BOXの語句を用いて，自分の意見を話したり書いたりしようとしている。

令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	家庭	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	家庭基礎	2	70時間

対象学年組　第1学年　1組、　2組、　3 組、　4組、　5 組

使用教科書　実教出版 図説　家庭基礎

科目：「家庭基礎」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
評価方法	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	題材1	10	期末	【題材名】 自分らしい生き方と家族 【目標】 多様な結婚や家族のかたち、家族に関わる法律を学ぶことを通して、現代の家族が抱える課題を理解し、将来の自分の家族について主体的に考えることができる。	・講義 ・プリント資料 ・ワークシート ・調理実習 ・小テスト ・定期考査						【知識・技能】 青年期の課題を理解するとともに、多様な生き方および家族・家庭生活の現状や課題について必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 男女参画社会におけるこれからの家族のあり方について思考を深め、論理的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯の生活設計や青年期の自立と家族・家庭について、主体的に考え、取り組んだことを振り返って改善するなどして、自分や家族および地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。 課題に進んで取り組み期日までに提出している。
1	題材2	10	期末	【単元名】 衣生活をつくる 【目標】 ライフステージや目的に応じた被服の機能について理解し、健康で快適な衣生活の向上にむけ、自身の生活の中で工夫し実践しようとしている。被服材料、被服構成および衛生、持続可能な衣生活について理解し、被服の計画・管理に必要な技能が身についている。	・講義 ・実技テスト ・グループワーク ・ワークシート ・一人1台端末 ・定期考査 ・調べ学習 ・発表						【知識・技能】 家族の衣生活を健康で快適に営むために必要な基礎的・基本的な知識および技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分や家族の衣生活について課題を見つけ、設定した課題について解決策を構想し、自身の意見を他者に論理的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい衣生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善して自身の生活を工夫し創造し実践しようとする。課題に取り組み期日までに提出している。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	題材3	4	期末	【題材名】 ホームプロジェクト実践 【目標】 ホームプロジェクトの実践を通して、自分や家族の生活上の課題に気づき、解決方法を考え、計画をたてて実践することができる。	・講義 ・プリント資料 ・ワークシート ・調理実習 ・小テスト ・定期考査						【知識・技能】 ホームプロジェクトについて意義と実施方法について理解している。 【思考・判断・表現】 自分や家族の生活上の課題を適切に設定し、現状を分析した上で解決策を構想している。実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善するなどして、自分や家族および地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。 課題に進んで取り組み期日までに提出している。
1	題材4	10	期末	【単元名】 住生活をつくる 【目標】 ライフステージに応じた住環境の特徴、安全や環境に配慮した住居の機能について理解する。自身の住生活の向上のため、健康で快適な住居の工夫を実践しようとしている。 適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	・講義 ・グループワーク ・ワークシート ・一人1台端末 ・定期考査 ・調べ学習 ・発表						【知識・技能】 住居の機能、住生活と健康・安全について理解し、家族の住生活を健康で安全かつ快適に営むために必要な知識および技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分や家族の住生活について課題を見つけ、解決策を構想し思考を深めている。また、考察したことを論理的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 住生活と住環境について主体的に考え、取り組んだことを振り返って改善するなどして、自分や家族および地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。課題に進んで取り組み期日までに提出している。
2	題材5	6	期末	【題材名】 ホームプロジェクト実践 【目標】 ホームプロジェクトの実践を通して、自分や家族の生活上の課題に気づき、解決方法を考え、計画をたてて実践することができる。	・講義 ・プリント資料 ・ワークシート ・調理実習 ・小テスト ・定期考査						【知識・技能】 ホームプロジェクトについて意義と実施方法について理解している。 【思考・判断・表現】 自分や家族の生活上の課題を適切に設定し、現状を分析した上で解決策を構想している。実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善するなどして、自分や家族および地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。 課題に進んで取り組み期日までに提出している。
2	題材6	10	期末	【題材名】 食生活をつくる 【目標】 ライフステージや目的に応じた栄養の特徴や食品の栄養的特性、調理上の性質について理解し、自己や家族の食生活を改善していく力を身に付け、健康や環境に配慮した食生活の向上を実践しようとしている。 調理に必要な基礎的な技術を身に付けている。	・講義 ・グループワーク ・ワークシート ・一人1台端末 ・定期考査 ・調べ学習 ・発表						【知識・技能】 栄養、食品、調理、食品衛生などについて理解し、家族の食生活を健康で安全に営むために必要な基礎的・基本的な知識および技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分の食生活の課題を見いだし、解決策を構想し思考を深め、論理的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会に向けて、健康や環境に配慮した食生活について主体的に考え、取り組んだことを振り返って改善するなどして、自分や家族および地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。 課題に進んで取り組み期日までに提出している。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2	題材7	6	期末	【単元名】 消費行動を考える 【目標】 消費行動と意思決定、消費者保護等についての学習を通して、自立した消費者として適切な意思決定のもと行動することや責任ある消費について主体的に考えることができる。	・講義 ・グループワーク ・ワークシート ・一人1台端末 ・定期考査 ・調べ学習 ・発表						【知識・技能】 消費生活の現状と課題、意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解している。生活情報を適切に収集・整理できる。 【思考・判断・表現】 自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について思考を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費行動と意思決定について、主体的に考え、取り組んだことを振り返って改善するなどして、持続可能な社会を構築するために実践しようとしている。 課題に進んで取り組み期日までに提出している。
2	題材8	6	期末	【題材名】 子どもとかかわる 【目標】 子どもの心身の発達の特徴、子どもの生活、親になることについて理解するとともに、乳幼児期の生活と福祉について家族や社会の果たす役割について考察する。	・講義 ・プリント資料 ・ワークシート ・調理実習 ・小テスト ・定期考査						【知識・技能】 乳幼児期の心身の発育・発達の特徴、子どもの生活、健やかに育つ環境と支援について理解している。 【思考・判断・表現】 乳幼児期の健やかな発達を支えるために、家族や地域、社会の果たす役割の重要性について思考を深め、論理的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 乳幼児期の生活と福祉について、主体的に考え、取り組んだことを振り返って改善するなどして、自分や家族および地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。 課題に進んで取り組み期日までに提出している。
3	題材9	4	期末	【題材名】 高齢期とかかわる 【目標】 高齢期の心身の特徴、社会環境、支援や介護についてりかいするとともに、高齢期の生活と福祉について家族や社会の果たす役割について考察する。	・講義 ・プリント資料 ・ワークシート ・調理実習 ・小テスト ・定期考査						【知識・技能】 高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、自立生活の支援や介護について理解している。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域、社会の果たす役割の重要性について思考を深め、論理的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢期の生活と福祉について、主体的に考え、取り組んだことを振り返って改善するなどして、自分や家族および地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。 課題に進んで取り組み期日までに提出している。
3	題材10	4	期末	【単元名】 経済的に自立する 【目標】 家計の構造や生活における経済や社会との関わり、家計管理について学ぶことを通して、生活における経済の管理や計画について主体的に考えることができる。	・講義 ・グループワーク ・ワークシート ・一人1台端末 ・定期考査 ・調べ学習 ・発表						【知識・技能】 家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理について理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について思考を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自立した生活を営むために必要な生活における経済の計画について、主体的に考え、取り組んだことを振り返って改善するなどして、持続可能な社会を構築するために実践しようとしている。 課題に進んで取り組み期日までに提出している。

令和7年度（1学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	人間と社会	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	人間と社会	1	35時間

対象学年組　第1学年全組

使用教科書　東京都教育委員会「人間と社会」、農業高校オリジナルテキスト「農高生学びの入口」

科目：「人間と社会」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察・説明・議論することができる。	「農高生」として演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとしている。
評価方法	ワークシート レポート	ワークシート レポート 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	6		【単元名】 農高生学びの入口（1） 【目標】 農業高校オリジナルテキスト「農高生学びの入口」を用いた学習を通して、農業高校のカリキュラムと育成すべき資質・能力を理解する。また、それらを身に付けようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 農業高校のカリキュラムと育成すべき資質・能力を理解している。 【思考・判断・表現】 学習内容と自己関わりから課題を見いだし、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な他者と人間関係を築こうとし、ケーススタディなどの課題を協働的に解決しようとしている。
1	単元2	6		【単元名】 他者との共生 ※5学科別　演習の学びを多面的・多角的に考察するための体験活動 【目標】 「農高生」として演習や体験活動を通して、他者と協働しながらよりよい人間関係を築くことについて理解する。また、社会参画、公共の精神に関する道徳的価値を深め、社会の一員として主体的に行動しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 「農高生」として演習や体験活動を通して、他者と協働しながらよりよい人間関係を築くことについて理解している。 【思考・判断・表現】 学習内容と自己関わりから課題を見いだし、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会参画、公共の精神に関する道徳的価値を深め、社会の一員として主体的に行動しようとしている。
1	単元3	6		【単元名】 農高生学びの入口（2） 【目標】 農業高校オリジナルテキスト「農高生学びの入口」を用いた学習を通して、アサーション・コミュニケーション、探究の方法、ノート・レポートの技法を理解する。また、それらを活用し他者と協働しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 アサーション・コミュニケーション、探究の方法、ノート・レポートの技法を理解している。 【思考・判断・表現】 学習内容と自己関わりから課題を見いだし、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な他者と人間関係を築こうとし、ケーススタディなどの課題を協働的に解決しようとしている。
2	単元4	6		【単元名】 地域社会と築く　※5学科別　演習の学びを多面的・多角的に考察するための体験活動 【目標】 「農高生」として演習や体験活動を通して、他者と協働しながらよりよい地域社会を築くことについて理解する。また、社会参画、公共の精神に関する道徳的価値を深め、社会の一員として主体的に行動しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 「農高生」として演習や体験活動を通して、他者と協働しながらよりよい地域社会を築くことについて理解している。 【思考・判断・表現】 学習内容と自己関わりから課題を見いだし、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会参画、公共の精神に関する道徳的価値を深め、社会の一員として主体的に行動しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2	単元5	6		【単元名】 消費者・生産者としての責任 【目標】 主権者・消費者・生産者としての心構え・自覚を養い、公正、公平、社会正義に関する道徳的価値を深め、社会を形成する能力、主体性を育成する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 「農高生」として社会や環境に配慮した消費や生産について考え、持続可能な社会の実現に向けた世界の動きについて理解している。 【思考・判断・表現】 学習内容と自己関わりから課題を見いだし、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会の担い手としての自覚を持ち、社会の一員として主体的に行動しようとしている。
3	単元6	5		【単元名】 農高生学びの入口（3） 【目標】 農業高校オリジナルテキスト「農高生学びの入口」を用いた学習を通して習得したアサーション・コミュニケーション、探究の方法、ノート・レポートの技法を活用し、来年度の学習に生かそうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 アサーション・コミュニケーション、探究の方法、ノート・レポートの技法を理解している。 【思考・判断・表現】 学習内容と自己関わりから課題を見いだし、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な他者と人間関係を築こうとし、ケーススタディなどの課題を協働的に解決し、来年度への学習に生かそうとしている。